4	１番　　下　町　　純　子　　議員 ①　子育て世代への支援について 　１月末に総務厚生常任委員会で少子化対策についての視察に行きました。視察先の岡山県奈義町の子育て支援の対策は本町でも参考にし、取り入れられるものがあると思います。少子化対策は子育て世代だけの問題ではありません。子育て世代が減少すると今現在当たり前だと思っている生活に必要な施設や機能の維持が難しくなります。奈義町では少子化対策は子育て世代だけではなく最大の高齢者福祉であるという意識をもって政策を進めています。本町にお住いの方たちが長与に住んでよかったと思えるためにも、他の自治体の取り組みについて本町でもできそうなことは取り入れてみてはいかがでしょうか。 （１）本町ではどのような子育て支援を行っていますか。 （２）産前産後のケアとしてどのような支援がありますか。 （３）奈義町は使わなくなった保育園の建物を再利用し「奈義チャイルドホーム」という施設を作り、子育て世代に交流の場を提供しています。本町も図書館移転後の建物を交流の場として利用できないでしょうか。 （４）奈義町では、子育てしながらあるいは子供連れでも働きたいという人と、常勤で雇用するほどではないがちょっとした仕事を任せたい事業者、または困った時にちょっとだけ手伝ってほしいと思っている個人事業主をつなぐ仕組みを作っています。子育て世代支援の一環として地域内の需要と供給をうまくつなげることができないでしょうか。 ②　「ホンテラッセ長与」の移転スケジュールについて 　去る１月１８日に行われた「ホンテラッセ長与」の建設途中の現場見学会に私も参加しました。定員６０名の募集に対して１５０名ほどの応募があり、図書館に対する町民の関心の高さがうかがえました。建物からの景色もよく、「ホンテラッセ長与」は本町の新しいランドマークになるものと期待できます。そこで開館までの準備について幾つかお尋ねしたいと思います。 （１）本年１０月に「ホンテラッセ長与」の建物が完成した後、図書館の本や備品の移転はどのようなスケジュールで行われるのでしょうか。 （２）移転に伴う図書館の休館はどのくらいの期間になりますか。 （３）職員の採用や配置はどのようになりますか。 （４）選書についてはどのように行う予定でしょうか。